

▼テボックスカプセル [内] ?

【重要度】 【一般製剤名】テコビリマト水和物 Tecovirimat Hydrate 【分類】抗ウイルス剤

【単位】 ▼200mg/Cap

【常用量】

体重13kg以上25kg未満：1回200mg, 12hr毎

体重25kg以上40kg未満：1回400mg, 12hr毎

体重40kg以上120kg未満：1回600mg, 12hr毎

体重120kg以上：1回600mg, 8hr毎

14日間治療

【用法】食後

症状の発現後速やかに投与を開始

【透析患者への投与方法】設定されていない【血中濃度上昇のおそれあり】(1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】設定されていない【血中濃度上昇のおそれあり】(1)

一部の代謝物のAUC増大(1)

【特徴】オルソポックスウイルス属のVP37蛋白質と細胞性Rab9 GTPase及びTIP47との相互作用を阻害することによりウイルスのエンベロープ形成及びその後に続くウイルス粒子の細胞外への放出を阻害。

【主な副作用・毒性】頭痛、めまい、消化器症状、血球減少、不安、傾眠、味覚障害など

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】主に加水分解体されM4、M5、TFMBAに代謝(1)UGT1A1・1A3・1A4にてグルクロロン酸抱合(1)

【排泄】主にグルクロロン酸抱合体として尿中に72.5%回収(1)

【t1/2】反復投与時16hr(1)

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】394.34 [hydrate]

【透析性】

【OW係数】LogP=3.1 [pH7.0](1)

【相互作用】CYP3A4・2B6の弱い誘導剤、CYP2C8・2C19の弱い阻害剤(1)

【主な臨床報告】

【更新日】20250513

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負えず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインターネットフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断複数・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。